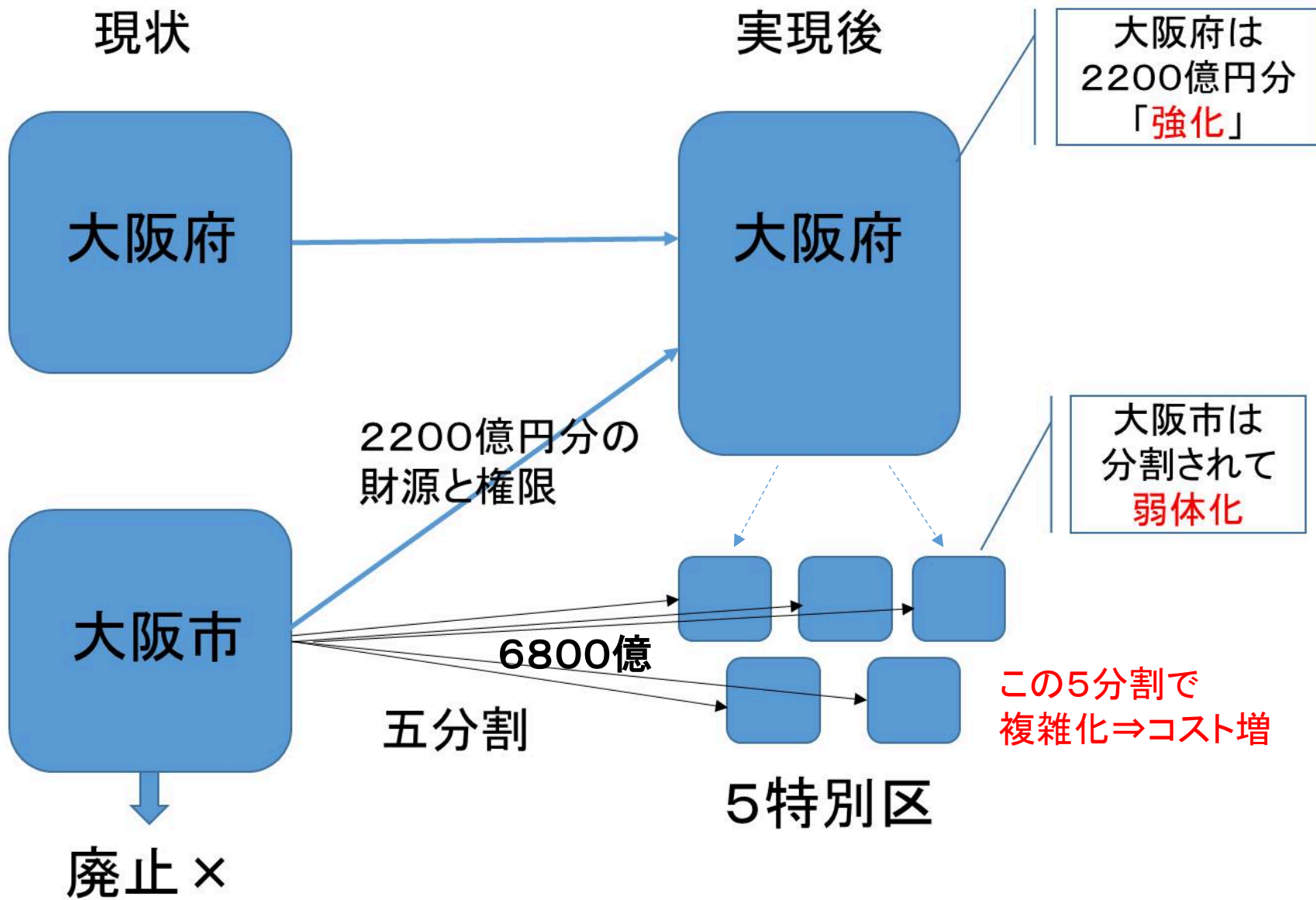


「都構想」で大阪は**どうなるか**？

京都大学大学院教授
藤井聡

「協定書」のイメージ



ツー大阪が
ワン大阪...じゃなくて

シックス大阪
になる！

「都構想」で大阪の街がダメになる。その理由

- ① **中心都市住民** (大阪市民) が「都市計画」の 財源と権限を失い、
周辺住民 (大阪市外=7割) が「都市計画」に大きく参与 (先ほど説明した理由)。
- ② 「都市計画」の ノウハウ・技術力・人材が失われる。
- ③ 「都市計画／開発」の 手続きが圧倒的に煩雑化。
- ④ 「過激な組織改革」で、当面「都市計画」が停滞
(その間、東京名古屋間リニア、東京オリンピックなどが進む)
⇒ 10年、20年後の大阪は、さらに凋落し、一地方都市に凋落。
景気が悪くなり、仕事も無くなり、市民の収入は減る！

「**二重行政**を無くして、豊かな大阪を作る」と言うが.....

慶応大学の上山教授(大阪市特別顧問)は、

「図書館が府と市で二つあって無駄だとか...

けち臭い話....稼働率が高けりゃ置いとけばいいし、
改善が進んでいる(府も市もあほじゃない)。」

(2011年10月26日 ツイッター)

と断言！

(※ 実際、よくよく調べると、二重行政はほとんど見つからなかった)

「都区制度で、豊かな大阪をつくる」と言うが.....

元大阪市特別顧問

佐々木信夫氏（中央大学教授・元東京都庁職員）は、

「都になれば成長するわけではない。
東京が繁栄しているのは
企業の本社機能が集まっているためで、
都制という自治制度とは関係ない」

（日経2011年12月11日インタビュー）

と断言！

「大阪市民の行政サービスは下がらない」というが....

元大阪市特別顧問

佐々木信夫氏（中央大学教授・元東京都庁職員）は、

（大阪都構想を）「成り立たせるためには、**現在の
大阪市の行政サービスの水準を下げ、財源を生
み出すしか手はない**」

（日経2011年12月11日インタビュー）

と断言！

（理由：都構想にすれば大阪市内の事業にまわる財源が減るから）

この投票判断の最重要ポイント

大阪市をつぶすか、どうか？

「つぶす」と大阪市民は自治を失い、財源と権限を失い、
まちづくりのノウハウが失われ、大阪の街が衰退していきます。

わざわざ大阪市をつぶさなくても、

大阪を、関西をよみがえらせるプロジェクトは、
いくらでもあります。

足元の伝統・文化を大切にし、
市民と民間と役所が協力し、
京阪神、関西で共同し、中央政府と連携し、
西日本の各地と「つなぐ」まちづくり・地域づくりを進めれば、

(蘇るまで努力し続ける＝マネジメントし続けること)

大阪、関西が**必ず蘇ります**。